

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第104回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2025年11月7日（金）13：30～15：00

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員） 佐々木部会長，宮澤副部会長，藤原幹事，浅見，生田，生駒，石原，伊藤，井原，菊池，小松原，斉藤，白井，高橋，立川，中島，花山，山本(正)（18名）

（代理出席） 石川譲二（福元委員代理／LLW 廃棄体等製作・管理分科会副主査）（1名）

（欠席委員） 飯田，小澤，坂井，山本(武)（4名）

（常時参加者）古田，澁谷，田村（3名）

（欠席常時参加者）酒井，佐藤（2名）

（説明者）【LLW 処分安全評価分科会】杉山主査，竹内幹事，中居委員，北原常時参加者

【原子燃料サイクル専門部会】藤原幹事

【輸送容器分科会】海老原幹事

【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】前川常時参加者（延べ7名）

（事務局）大沼，平野（2名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員23名中，18名が出席しており，成立に必要な定足数（16名以上）を満足している旨が報告された。その後1名が出席し，最終的に19名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC104-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料にて承認された。

(2) 人事（FTC104-2）

事務局から資料に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等が確認され，審議の結果，委員の再任・承認等が決議された。

【専門部会】

◆決議事項

(a) 委員再任

坂井 章浩 日本原子力研究開発機構 2026.04～2028.03

【分科会】

○リサイクル燃料貯蔵分科会

◆承認決議事項

(a) 委員選任

溝渕 博紀 オー・シー・エル

◇確認事項

(a) 委員退任

松本 務 オー・シー・エル 2025.06.27

○LLW 廃棄体等製作・管理分科会

◇確認事項

(a)委員退任

柳原 敏 福井大学 2025.10.24

○ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会

◇確認事項

(a)常時参加者登録解除

布川 公一 三菱原子燃料 2025.09.30

○LLW 処分安全評価分科会

◇確認事項

(a)常時参加者登録解除

稲井 隆将 東電設計 2025.07.14

(b)常時参加者登録承認

斉藤 太一 日揮
坂本 道仁 東電設計

○臨界安全管理分科会

◇確認事項

(a)常時参加者登録解除

生南 貴浩 原燃輸送 2025.07.25

(b)常時参加者登録承認

河崎 将大 原燃輸送

(3)【報告・審議】

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX” 標準改定案に関する標準委員会の意見募集結果及び受け付けた意見の対応について

(担当：事務局，LLW 処分安全評価分科会 杉山主査，竹内幹事，中居委員，北原常時参加者)

事務局から資料 FTC104-3-1 に基づき，題記に関する意見募集の結果，3名の委員から意見の提出があった旨の報告があった。引き続き，説明者から資料 FTC104-3-2～8 に基づき，意見への対応について説明があった。審議の結果，この意見対応の内容を次回の標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：今日は本報告ではなく，標準委員会の中間報告で受けたコメント対応が問題ないかを決議し，その内容を次回標準委員会で報告するということか。本報告は，2月専門部会以降ということで良いか。

A：そのとおり。

Q：JIS Z 4001：1999の廃止を受けてこの標準案の引用規格から削除しているが，単に削除するのではなく，必要な用語をこの標準の中に追加する必要は無いか。標準委員会で同様の質問がある可能性がある。

A：LLW処分安全評価で使用されている用語の定義は追加しているものの，現時点で全ての確認はできていない。現在，分科会にて標準全体に対し確認中のため，改めて用語についても確認する。

C：標準委員会の用語辞典についても，同様に用語の追加要否の検討が必要。

Q：キャッピングについて，引用先の土木学会報告書において明確に定義されていない用語を本標準で引用していたが，標準の意図に合うように適切な用語に修正したということか。

A：そのとおり。当該用語は複数の定義があり得ること，土木学会関係者への聞き取りで

も同様の認識であることが分かったため、本標準で使用するにあたり、曖昧さをなくす観点から当該用語を用いない表現に修正した。なお、中間報告時点の本文中には当該用語は使用していなかったため、引用した図中の用語を修正し、図の表現と合うように文章を修正した。

(4) 【報告】 (FTC104-4)

標準策定5か年計画の更新(2026年度版作成)について

(担当: 藤原幹事)

説明者から資料に基づき、標準策定5か年計画の更新(2026年度版作成)について説明があり、各分科会の検討結果を来年1月9日までに集約し藤原幹事にて専門部会としてまとめることとした。特に質疑、コメント等は無かった。

(5) 【報告】 (FTC104-5)

分科会活動状況について

(担当: 各分科会代表者等の関係者)

分科会の活動状況について各分科会から説明があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(6) 【講習事項】

倫理教育の実績について

(担当: 藤原幹事)

説明者から資料に基づき、標準委員会での倫理教育の状況と、その後の専門部会、分科会での倫理教育の実績について説明があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q: 専門部会・分科会から多くの意見が出ているが、これらは倫理委員会の中でどのように扱われ、我々にフィードバックされるか。

A: 頂いたご意見は、標準委員会標準活動基本戦略タスクの倫理担当へ提出し、翌年度の講師や講演内容について委員長と相談する際等に参考にされている。

6. その他

(1) 事務局から、佐々木部会長の1期目の任期が2026年2月までとなっているので、次回2月の第105回原子燃料サイクル専門部会にて、Webexの投票システムを利用して部会長の互選を行う予定である旨の予告があった。

(2) 今後の予定

今回は、2026年2月5日(木)13:30からの開催に決定した。

【配付資料】

FTC104-0 第104回原子燃料サイクル専門部会議事次第

FTC104-1 第103回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)

FTC104-2 人事について

FTC104-3-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編:20XX”
標準改定案に関する意見募集【SC25-06】の結果について

FTC104-3-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編:20XX”
標準原案に関する標準委員会意見募集結果の対応について

- FTC104-3-3 標準委員会コメント対応案
- FTC104-3-4 本文等への気づき事項（8頁以降に対応案を追記）
- FTC104-3-5 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
本体
- FTC104-3-6 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
附属書
- FTC104-3-7 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
解説
- FTC104-3-8 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
新旧対照表
- FTC104-4 原子燃料サイクル専門部会 標準策定5か年計画（2026年度版）
- FTC104-5 分科会活動状況報告（2025年10月24日時点）
- FTC104-6 原子燃料サイクル専門部会の2025年度倫理教育実施状況（October 24,2025 現在）

参考資料

- FTC104-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC104-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

以 上